深のテーマ Theme of Tears Music by Shinji Kakijima













「涙のテーマ」は「SUIT CD Vol.4 Miguel Ayman ×Nicol Amarfi」 (ビクターエンタテインメント発売、キャラ編Vol.3 29p参照) に収録されています。

柿島伸次(かきじましんじ)

シンガーソングライター。1993年メジャーデビュー。現在最新作『柿島伸次 BEST〜WINDING ROAD〜』RSR-1015 (定価2500円) が好評発売中。 問い合わせ:ダブルフューチャーdoublef@nk.rim.or.jpまで。

ニコルの思い出

年齢が上のカッコいい男の子の役はあまりなかったので、しゃべり方を音響監督にご指導いただきながらやらせていただきました。だんだんダメ(NG)がでなくなり、役をつかんでこれから思いっきりやろうかなと思っていたときに亡くなってしまったので、非常に残念です。ドラマ的には重要な転換になりましたが、なぜ、ニコルが死ななければならなかったのか、少し考えてくださるとうれしいです。明るい彼はきっと天国でも天使の輪をつけて元気にしていると思いますので、「涙のテーマ」を聴いて思い出してやってください。

- 摩味さん(ニコル・アマルフィ役)

運命を暗示するテーマ

この「涙のテーマ」ができたのは、アフレコ現場での福田監督との立ち話がきっかけです。BGMとかぶらずに「ニコルがピアノを弾く」「いかにもなクラシックじゃない」というテーマを、アメリカンROCKバラードも面白いかなという思いで柿島伸次をスタジオに呼んだんです。突然のことで、事情をよく飲み込めない彼に、「必要なのは状況じゃなく心情だから」という強引な言いわけでニコルの性格だけを伝えました。そして指を置いた鍵盤からはニコルの運命を暗示するかのような、あの切ない旋律が奏でられていました。

・野崎圭一(ビクターエンタテインメント)